



10月23日(月)

こわいけれど
おもしろい



「やまんばと3まいのおふだ」の紙芝居
何度もなんども繰り返して読んでいます。
セリフも覚えちゃうくらい読んでいます。

ハロウィンも楽しいけれど山姥、幽霊、妖怪…。

日本のこわいものの方が、こどもたちにとっては魅力的な様です。

水木しげる「妖怪図鑑」からはじまって葛飾北斎の妖怪絵や歌川国芳の「相馬の古内裏」といった浮世絵まで愛でて、楽しむ心意気のあるこどもたち。

200年以上も前の絵画が令和を生きるこどもたちにも魅力的な存在であることが衝撃的！さらに「みえないもの」への興味が日々アップデートされています。



それぞれが気になる妖怪のページを見せてくれました。見事にみんな違う！！